

# 令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

児童教育学科DP	① 教育・保育に必要な専門性 教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。 ② 課題解決能力 教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。 ③ 豊かな人間性 教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探究し向上しようとする態度を有している。
----------	---

科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
			①	②	③
専門科目（教員免許に関する科目等）	①	1. 小学校国語科の各領域・各事項及び書写の目的・内容の学習価値を理解する	○		
		2. 学習内容にふさわしい国語科の教材開発ができる	◎		
		3. 教材の持つ価値について、保・幼・小連携の視点から分析できる		○	
	①	1. 様々な教材の有用性を理解している	◎		
		2. 体験をとおして地域と教育の関係を理解している	○		
		3. 授業内容を応用して自分なりの教材を構想できる		○	
	①	1. 幼少期における算数教育の意義を理解する	◎		○
		2. 算数的活動を通して、その楽しさと深さ、意義を知る	○	○	
		3.			
	①	1. 小学校理科の目標・内容を理解する	◎		
		2. ものづくりを模擬授業を通して考え、実践力を養う		○	
		3.			
	①	1. 生活科を実践できる知識・技能を習得する	◎		
		2. 地域を見つめ、環境を教育に生かそうとする意識をもつ			○
		3.			
①	1. 小学校音楽科教育に必要な歌唱援助および歌唱指導ができる	◎			
	2. 基礎的音楽理論、ピアノ演奏技術を演習し理解することができる	○			
	3. 教育者としての基礎的な音楽に関する保育技能を高めることができる	○			
①	1. 「造形遊び」「絵や立体・工作に表す」の知識や技能を習得できる	◎			
	2. 製作実習を通して、造形表現の豊かさを味わい、手を通して思考することの大切さを理解できる	○			
	3. 感性や創造性を育むための適切な授業づくりについて説明できる			○	
①	1. 家庭生活に必要な基礎知識や指導法を習得する	◎			
	2. 家庭生活の変容を認識し、環境に合わせた指導法について考える		○		
	3. 基本的な調理操作を行うことにより、注意への意識を高めた授業計画を作成できる	○			
①	1. 運動遊びや運動の特性について理解し、積極的に取り組むことができる。	○			
	2. グループで話し合い、ルールや場の工夫を行うことができる。		○		
	3. 運動遊びや各種運動の基礎的な技能を身につけることができる。	◎			
	4. 運動遊びや運動の指導法について理解を深めることができる。	○			
①	1. 小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な実践的な英語の聞く力、話す力(やり取り・発表)、読む力、書く力を、授業場面を意識しながら身に付ける。	○	○		
	2. また小・中学校の接続も踏まえながら、小学校における外国語活動・外国語の授業を担当するために必要な英語に関する基本的な知識(音声・語彙・文構造・文法・正書法等)、第二言語習得の基本的な理論、児童文学(絵本、子ども向けの歌や詩等)の収集法や活用法、異文化理解の理論などについて理解する。	◎			
	3.				
①	1. 国語科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解している。	○			
	2. 学習指導要領に示された国語科の学習内容の背景となる学問領域と関連させて理解を深めると共に、様々な学習理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。	◎			
	3.				
①	1. 社会科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解している。	○			
	2. 学習指導要領に示された社会科の学習内容について理解を深め、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付けている。	◎			
	3.				

## 令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

<b>児童教育学科DP</b>	① 教育・保育に必要な専門性 教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。 ② 課題解決能力 教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。 ③ 豊かな人間性 教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探究し向上しようとする態度を有している。
-----------------	---

科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
			①	②	③
算数科指導法	①	1. 算数科における教育目標、児童が獲得すべき資質・能力を理解し、学習指導要領に示された算数科の学習内容について、その背景にある数学の学問性や文化性と関連付けながら理解を深め、様々な教材観や教育方法観を踏まえて授業場面を見据えた授業設計を行う力量を育成する。	◎		○
		2.			
		3.			
理科指導法	①	1. 1. 小学校理科の教育目標、それぞれの区分における育てるべき資質・能力を理解することができる。	◎		
		2. 見通しを持った観察や実験を行う段階で、児童の学習への構造化の一貫性を考慮した授業内容について理解する。	○		
		3. 模擬授業を通して授業改善の視点について理解する。		○	
生活科指導法	①	1. 生活科における教育目標、育成を目指す資質・能力を理解し、学習指導要領に示された生活科の学習内容について理解を深め、様々な学習指導理論を踏まえて具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。	◎		
		2.			
		3.			
音楽科指導法	①	1. 小学校における音楽教育活動に必要な基礎的授業運営することができる	○		
		2. 児童の音楽を愛好する心情と感性を育てることができる			○
		3. 音楽活動に必要な基礎的能力を身に付けることができる	○		
		4. 音楽授業の設計について研究し実践できる	◎		
図画工作科指導法	①	1. 図画工作科の教育目標や学習内容、育成する資質・能力を理解する	○		
		2. 様々な課題製作を通して、基礎造形の知識や技能を習得する	◎		
		3. 模擬授業を通して“深い学び”を実践的に考察し、適切な授業づくりと指導法を習得する		○	
家庭科指導法	①	1. 家庭科教育の変遷を辿り、時代による家庭科教育の内容や特徴を理解する。	○		
		2. 児童の生活をより良くしようとする実践的な態度を育てるための指導力を育成する。	◎		
		3. 生活を科学的にみつめる生活知と科学知を育成する。		○	
		4. 家族や地域社会の人々と共生できる人間像を養う。			○
		5. 教師としての基本的資質、使命感、教育的情熱を育成する。			○
体育科指導法	①	1. 学習指導要領における体育科の目標及び内容並びに全体構造を理解している。	○		
		2. 体育の基礎理論及び体育科独自の教師像を理解することができる。			○
		3. 学習指導要領解説体育編に示された運動領域について理解することができる。	○		
		4. 各運動領域の内容及び機能的特性・構造的特性・効果的特性を理解することができる。	○		
		5. 体育の授業づくりの視点を明確にし児童の実態に即した単元計画を立案し、指導案の作成ができる。	◎		
		6. 模擬授業を行い自らの実践を省察することができる。		○	
外国語指導法	①	1. 小学校における外国語教育に係る背景知識・主教材、小・中・高等学校の外国語教育における小学校の役割、多様な指導環境について理解する。	◎		
		2. また児童への語りかけ方、児童の発話の引き出し方、文字言語の出合わせ方など、実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。最終的には教材研究、指導案作成、ICTの活用、学習状況の評価などを踏まえた模擬授業とふり返りを通し、実際の授業作りに必要な知識・技術を身に付ける。	○	○	
		3.			
幼児と健康	①	1. 子どもの健康問題に関する現代的課題について学習し、教育現場の実情を理解する	○		
		2. 乳幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達など幼児の基本的な理解ができるようになる	◎		
		3. 子どもの健康に関するさまざまな知識を身につけ、子どもとの積極的関わりができるようになる	○		

専門科目（教員免許に関する科目等）

## 令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

児童教育学科DP	① 教育・保育に必要な専門性 教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。 ② 課題解決能力 教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。 ③ 豊かな人間性 教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探究し向上しようとする態度を有している。
----------	---

科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係			
			①	②	③	
専門科目（教員免許に関する科目等）	幼児と人間関係	①	1. 乳幼児期の重要性を理解するとともに、現代の乳幼児の人間関係に関わる諸問題を理解し、それに対する幼稚園・保育所・認定こども園の役割について説明できる	◎		
			2. 乳幼児期の大人との関係性及び仲間関係の重要性について説明できる	○		
			3. 自己の発達とともに、社会性の発達を促す仲間関係の影響について説明できる	○		
			4. 家族や地域との関わりにおける人間関係の発達とその意味を説明できる。なお授業では、課題の達成のために、討議、グループワーク、発表などの活動を取り入れ、情報機器による情報検索や保育での活用方法を学ぶ		○	
	幼児と環境	①	1. 保育内容（環境）において一般的な幼児の育ちの姿、保育者の果たすべき役目について学んだことを踏まえて、幼児期の環境として保育者が考えなければならないことを想定し実践できるようになる。また、保育者として現代の幼児の取り巻く環境としての問題点について説明することができる。	◎		
			2.			
			3.			
	幼児と言葉	①	1. 領域「言葉」の指導の基盤となる、幼児の豊かな言葉や表現や、想像する楽しさについて理解している。	◎		
			2. 乳幼児の言葉の発達過程を踏まえた言葉の意義や機能、児童文化財の意義、言語感覚を豊かにする実践に関する知識を身につける。	○		
			3.			
幼児と表現	①	1. 領域「表現」の指導に関する、幼児の姿やその発達及びそれを促す要因について理解する。	○			
		2. 幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや、環境の構成などについての知識・技能・表現力を身につける。	◎			
		3.				
保育内容総論	①	1. 子どもの発達の特性を保育内容の観点から捉え、保育実践の動向を踏まえた指導法を構築できる	○			
		2. 実践的な活動を通して、教育・保育指導計画案作成による構造の理解及び評価、改善について探求できる	◎			
		3. 情報機器及び教材を活用した教育・保育の実践を工夫することができる			○	
保育内容（健康）の指導法	①	1. 幼稚園教育要領に示された健康領域のねらい及び内容について理解を深めることで、乳幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、乳幼児の発達について、主体的学びができるようにするとともに、具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付けられるようにする。	◎			
		2.				
		3.				
保育内容（人間関係）の指導法	①	1. 領域「人間関係」のねらい及び内容を説明できる	○			
		2. 幼児の発達に即して、領域「人間関係」の内容の取扱いに基づき、具体的な場面を想定した保育を行う力を身に付ける	◎			
		3. 育みたい資質能力について理解し、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を考慮した保育を説明できる	○			
保育内容（環境）の指導法	①	1. 幼稚園・保育所・認定こども園の保育内容5領域のうち「環境」とはどのような狙いと内容を含んでいるか、具体的に理解することを目標とする。また、自ら現場における使える知識としての学習を通して、それを理論的に検証し、保育現場で活用できるようにする。	◎			
		2.				
		3.				
保育内容（言葉）の指導法	①	1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された領域「言葉」のねらい及び内容を学び、幼児の心身の発達や学びの過程を理解する。	○			
		2. 領域「言葉」に関連する具体的な保育場面を想定した指導や保育活動を構想する方法や、（言葉）に係る保育技術の一端を習得する。	◎			
		3.				
保育内容（表現）の指導法	①	1. 幼稚園教育要領・保育所指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に示された、領域「表現」のねらい及び内容について理解を深める。	○			
		2. 幼児の発達に即した表現に関わる具体的な保育援助・指導方法を身に付ける。	◎			
		3.				
教育原理	③	1. 教育の基本的な考え方と目標について個人や集団・社会を視野に収めながら、教育史や教育思想に沿って教育と教育施設の理解を深めることができる。	○		◎	
		2.				
		3.				

# 令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

児童教育学科DP	① 教育・保育に必要な専門性 教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。 ② 課題解決能力 教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。 ③ 豊かな人間性 教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探究し向上しようとする態度を有している。
----------	---

科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係			
			①	②	③	
専門科目（教員免許に関する科目等）	保育原理	③	1. 教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標を理解している。	○		
			2. 教育を成り立たせる子ども、教員及び家族等の相互関係を理解している。			◎
			3. 現代社会における教育課題を歴史的な視点から理解している。		○	
	教職概論	③	現代における教員の活動は多岐にわたり、しかも極めて重要である。本講義では、教職の意義、教員の役割、教員の資質について考え、学生自らが教員としての適性を吟味し、また深める機会とする。		○	◎
			2.			
			3.			
	教育制度論	③	1. 近代公教育成立の社会背景を知り、その基本的枠組みについて理解している。	○		
			2. 現行日本国憲法下の公教育制度の特質を、関係主要法令に基づき説明することができる。	○		
			3. 公教育が直面する諸課題を認識し、課題解決に資する方策提示への視点がえられている。		○	◎
	教育心理学▲	③	1. 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について説明できる	○		
			2. 各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支援する基礎となる考え方を説明できる	○		◎
			3.			
	特別支援教育・保育	③	1. 様々な障害等の概念について説明できる	○		
			2. 特別支援教育の歴史的変遷と制度について説明できる	○		
3. 様々な障害や特別な配慮を必要とする子どもの指導・支援を説明できる			○		◎	
教育課程・保育計画の意義と編成・評価	③	1. 教育課程と保育計画、各指導計画の意義、種類、構成など基本的な知識を習得する	○			
		2. 乳幼児期から児童期に関する長期短期的な指導計画を立案する力を養う			◎	
		3. カリキュラム・マネジメントの意義と重要性を理解する	○			
道徳教育の指導法	①	1. 「道徳とは何か」について説明することができる。	○	○		
		2. 道徳教育および道徳科の目標と内容を理解している。	○	○		
		3. 道徳科の授業を構想することができる。	◎	○	○	
総合的な学習の時間の指導法	①	1. 総合的な学習の時間において、各教科等で育まれる見方・考え方を総合的に活用して、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会・実生活の課題を探究する学びを実現するために、指導計画の作成及び具体的な指導の仕方並びに学習活動の評価に関する知識・技能を身に付ける。	◎			
		2.				
		3.				
特別活動の指導法	①	1. 特別活動は「なすことによって学ぶ」を前提としており、学級や学校の生活作りの共同作業を通して、より個人的でより社会的な成長を促進するものである。特に求められているのは、コミュニケーションの力、社会への積極的な関与の意思、生涯にわたる子どもの自己実現の意欲である。そのためには学生自身がそうした者にあらかじめなっていなければならない。本講義では以上のことを、指導の在り方や方法を含めた特別活動の具体的な内容に沿って進めていく。		◎		
		2.				
		3.				
教育の方法・技術	①	1. これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、情報機器及び教材の活用に関する基礎的な知識並びに技能を身に付ける。		◎		
		2.				
		3.				
保育の方法・技術	①	1. 幼稚園教育・保育所・幼保連携型認定こども園等における教育・保育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解し、幼児期における育みたい資質・能力との関連を説明できる		◎		
		2. 幼児の主体的・対話的で深い学びを促す具体的な保育指導方法を説明できる	○			
		3.				
情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		1. 情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。	◎			
		2. 情報通信技術を活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。	○		○	
		3. 児童に情報活用能力(情報モラルを含む)を育成するための基礎的な指導法を身に付ける。	○		○	

## 令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

児童教育学科DP	① 教育・保育に必要な専門性 教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。 ② 課題解決能力 教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。 ③ 豊かな人間性 教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探究し向上しようとする態度を有している。
----------	---

科目名		最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
				①	②	③
専門科目（教員免許に関する科目等）	生徒指導・進路指導	①	1. 教職員や関係機関と連携しながら組織的に生徒指導を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付ける 2. 一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むことを理解できるようになる 3. 学校内外の組織的体制に必要な知識や素養を学び、説明できる	◎		○
	幼児理解	①	1. 幼児期にみられる問題行動の背景について考え、仮説を立てることができる 2. 多様な幼児およびその保護者への対応方法を考える基礎を身につける。 3.	◎		○
	教育相談▲	①	1. 自己理解を深めながら、個性の伸長や人格の成長を支援する教育活動について学ぶ 2. 発達状況に即しつつ、適切に捉えた個々の心理的特質や教育的課題について説明できる。 3. 支援に必要な基礎的知識(カウンセリングの意義、理論や技法に関する基礎的知識を含む)を身につける		○	○
	幼稚園教育実習 I 指導	②	1. 実習準備として、幼稚園について理解を深め、心構えを持つ 2. 保育計画を立て、具体的に準備する 3. 実習を振り返り、幼児教育の理解を深める	○	◎	○
	幼稚園教育実習 I	②	1. 幼稚園、幼児、幼稚園教諭の活動と職務について、体験的に理解する 2. 観察や実践を通して、保育、教育技術を身に付ける 3. 保育観・教育観を確立し、社会人としての行動が取れるようになる	○	◎	○
	小学校教育実習指導	②	1. 小学校教育実習の意義を理解し、実習に臨む意欲をもつ 2. 実習に必要な観察力や技能を習得する 3. 実習を振り返り今後に生かそうとする意識をもつ	○	◎	○
	小学校教育実習	②	1. 小学校教師の責任ややりがいを理解する 2. 教師の職務に必要な知識や技能を習得する 3. 児童と接する中で子ども観を構築できる	○	◎	
	幼稚園教育実習 II 指導	②	1. 実習の事前事後学習で、幼稚園教諭や保育教諭としての資質・技能を形成する 2. 3.	○	◎	
	幼稚園教育実習 II	②	1. 子ども理解を深める 2. 保育観を形成する 3. 保育技術を高める	○	◎	○
	保育・教職実践演習	②	1. 講義・討論等とおして子ども理解や保育理解を深化する 2. 模擬保育等とおして保育職としての実践力を高める 3. 自分なりの保育者観・保育観を確立できる	○	◎	○
	小学校教職実践演習	②	1. 講義・討論を通して児童や教職の意義等について理解する。 2. 授業参観や現職教員の指導を通して、実践力向上を図る。 3. 自分なりの教師観・教育観を確立できる。	○	◎	○
	社会福祉	①	1. 社会福祉の意義と歴史の変遷及び社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する 2. 社会福祉の制度や実施体系及び社会福祉における相談援助について理解する 3. 社会福祉における利用者の保護に関わる仕組みについて理解する 4. 社会福祉の動向と課題について理解する	○	◎	
	情報機器演習	①	1. ICT(情報通信技術)機器の基本的な操作ができるようになる 2. インターネットを利用できるようになる 3. ICT機器を教育現場で活用できるようになる	◎	○	○

## 令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

児童教育学科DP	① 教育・保育に必要な専門性 教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。 ② 課題解決能力 教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。 ③ 豊かな人間性 教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探究し向上しようとする態度を有している。
----------	---

科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
			①	②	③
教師と法	③	1. 現代教育法令の体系を知る。	○		
		2. 学校現場と法令の関わりの実際を知る。	○		◎
		3. 教員採用試験に対応しうる法令知識を習得する。	○		
子どもと人権	③	1. 人権教育・保育を実践するための知識や技能を習得している。	○		
		2. 人権に対する配慮をもって子どもとかかわる意識を有している。			◎
		3.			
環境教育演習	②	1. 環境教育の実践ができる専門的な知識や技能を習得できる	○		
		2. 地域の環境を教材化する意識を高める		◎	
		3. 環境教育や環境保護に従事する人々の意識を学びとる			○
カウンセリング入門▲	①	1. カウンセリングの基礎的理論を理解する	◎		
		2. カウンセリングにおける「みため」を理解する		○	
		3. 援助に必要な相談・面接技法を習得する	○		
生涯学習論	③	1. 科目の性質上、すべてが事前事後の学習であり、そうした自覚で単に講義の時間ばかりでなく、すべてに対して興味関心を持つようお願いしたい。			◎
		2.			
		3.			
家族関係論	③	1. 社会の動きにともなう家族の変化を理解する	○		
		2. 家族を多角的に捉える視点を身につける		○	
		3. 教育・保育現場で多様な状況に対応できる柔軟性を身につける			◎
子どもと音楽Ⅰ	①	1. 幼児教育に必要な幼児曲の歌唱援助ができるようになる。	◎		
		2. 基礎的音楽理論を理解することができる。・ピアノ課題幼児曲の演奏ができるようになる。	○		
		3. 保育者としての基礎的な音楽に関する保育技能を高める。	○		
子どもと音楽Ⅱ	①	1. 幼児教育に必要な音楽の基礎理論についてさらに理解することができる	◎		
		2. 歌唱援助や弾き歌いについてさらに演習し実践できる	○		
		3. 音楽の一般的能力を獲得することができる	○		
子どもと音楽Ⅲ	①	1. コードネームを用いた伴奏法を習得する。	◎		
		2. 保育・教育現場における音楽活動について理解し、活用できるようになる。			○
		3. 幼児曲の弾き歌いの技術を高める。	○		
子どもと音楽Ⅳ	①	1. 保育・教育現場で行われる音楽活動を実践する技術を習得する。	◎		
		2. 幼児曲の弾き歌いの技術を高める。	○		
		3.			
子どもと造形Ⅰ	①	1. 幼児期における“つくる”活動の目的や内容を理解する	○		
		2. “つくる”活動の発達過程やねらい、援助の在り方を習得する	◎		
		3. 課題製作を通して、基本的な知識や技能を習得し、創造する喜びを味わう			○
子どもと造形Ⅱ	①	1. 描く活動を中心とした子どもの造形表現活動について支援の在り方を学ぶ。	○		
		2. 多様な課題製作を通して表現の豊かさを味わい、基礎的な表現技術を習得する。	◎		
子どもと運動・身体表現		1. 子どもの発育発達と運動技能の習得過程について理解することができる。	○		
		2. 子どもの運動遊び・身体表現についてオリジナルの保育指導案が作成できる。	○		
		3. 子どもの運動遊び・身体表現について保育実践力を身に付ける。	◎		
読書と豊かな人間性	① ③	1. 読書の意義を理解する	◎		
		2. 学校図書館における読書指導について理解する	○		
		3. 学校図書館で読書指導を実践できる知識と技能を身につける			◎

専門科目（教員免許に関する科目等）

# 令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

児童教育学科DP	① 教育・保育に必要な専門性 教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。 ② 課題解決能力 教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。 ③ 豊かな人間性 教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探究し向上しようとする態度を有している。
----------	---

科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係			
			①	②	③	
専門科目（保育士証に関する科目等）	子ども家庭福祉	①	1. 現代社会における子ども家庭福祉の意義と歴史の変遷について理解する	○		
			2. 子どもの人権擁護について理解する	◎		
			3. 子ども家庭福祉の制度や実施体系等について理解する	○		
			4. 子ども家庭福祉の現状と課題、及び動向と展望について理解する	○		
	保育者論	③	1. 保育士の責務や倫理、社会的役割を理解している	○		
			2. 乳幼児の発達の特徴及び保育のポイントを把握している	○		
			3. 保育の現場で専門性を発揮し、自ら成長する心構えがある			◎
	子ども家庭支援論	①	1. 子育て家庭に対して保育士の行う相談等の支援の意義や保育士との役割について理解する	○		
			2. 保育士による子ども家庭支援の基本について理解する	◎		
			3. 子育て家庭に対する支援の体制について理解する	○		
			4. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解する	○		
	社会的養護 I	①	1. 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について理解する	○		
			2. 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について理解する	◎		
			3. 社会的養護の制度や実施体系、社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について理解する	○		
			4. 社会的養護の現状と課題について理解する	○		
	社会的養護 II	①	1. 子どもの理解を踏まえた社会的養護の基本的内容、施設養護及び家庭養護の実際について理解する	◎		
2. 社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する			○			
3. 社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する			○			
4. 社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する			○			
保育の心理学	③	1. 保育実践に関わる発達の基礎を理解し、発達理論を学び、人の心理的発達を捉える視点を持つ。発達心理学の理解を通して、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。乳幼児期の発達と学びの過程や特性について基礎的知識を学び、保育における人との相互的関わりや体験、環境の意義を理解する。	○		◎	
		2.				
		3.				
子ども家庭支援の心理学	③	1. 発達の概念と生涯発達について、心理的基礎権を計り、初期経験の重要性や発達課題などについて学ぶ。	○			
		2. 家族や家庭の意義・機能を理解し、発達の観点から家族や親子の関係性について理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得する。		○	◎	
		3. 子どもの精神保健とその課題について理解する。子育て家庭を取り巻く現代の社会状況とその課題を理解する。	○			
子どもの保健	①	1. 小児期の区分や子どもの発達について理解する	○			
		2. 統計から見た健康に関する現状を知り、それに対する施策を学ぶ	○			
		3. 病気予防や子どもが罹りやすい病気とその対応を学ぶ	◎			
子どもの健康と安全	①	1. 子どもの健康及び安全に係る保健活動のしくみを学ぶ	○			
		2. 子どもの心身観察ポイントや処置、事故とその予防を学ぶ	◎			
		3. 実習に向けて、自身の健康管理や地域の資源の活用について学ぶ		○	○	
子どもの食と栄養	①	1. 健康な生活の基本としての食生活の意義や栄養に関する基本的知識を学ぶ。	○			
		2. 子どもの発育・発達と食生活の関連について理解を深める。	○			
		3. 食育の基本・内容を理解し、家庭や児童福祉施設における食生活の現状に即した食育が出来るようになる。	◎		○	
子どもの理解と援助	①	1. 子ども一人ひとりの心身の発達や学びを、実態に応じて把握することが保育実践において重要であること及びその意義を理解する。	○			
		2. 子どもが体験したり、学ぶ過程において子どもを理解するための基本的な考え方を理解する。	○			
		3. 子どもを理解するための具体的方法を知り、それに基づく保育者の援助や態度の基本を理解する。	◎			
子育て支援	①	1. 子育て家庭に対して保育士の行う相談等の支援の展開について具体的に理解する	◎			
		2. 子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容とその実際を理解する		○		
		3.				

## 令和4年度入学生 カリキュラム・マップ

<b>児童教育学科DP</b>	① 教育・保育に必要な専門性 教育・保育に必要な専門的な指導力を習得するとともに、それらを活用・実践する力を有する。 ② 課題解決能力 教育・保育の課題解決に必要な思考力・判断力・表現力・コミュニケーション能力・人間関係調整能力等を有し、現場で実践できる。 ③ 豊かな人間性 教育的な情熱や使命感・倫理観をもち、社会の変化に対応しながら、理想の教育・保育を目指して探究し向上しようとする態度を有している。
-----------------	---

	科目名	最も関係の深いDP番号	到達目標	DPとの関係		
				①	②	③
専 門 科 目 （ 保 育 士 証 に 関 す る 科 目 等 ）	乳児保育Ⅰ	①	1. 乳児保育の現状と課題について理解する	○		
			2. 3歳未満児に対する保育の内容や方法、計画や記録について学ぶ	◎		
			3. 家庭や地域、関係機関との連携について学ぶ	○		
	乳児保育Ⅱ	①	1. 3歳未満児の発達特性を踏まえた援助や関わりを学ぶ	○		
			2. 3歳未満児の生活や援助を具体的に理解する	◎		
	保育所実習Ⅰ指導	②	1. 子どもの人権や生活、保育士の仕事等を十分理解している	○		
			2. 保育者としての責任感、使命感を有している			○
			3. 実習に必要な知識を有し、実習準備・学習が行えている		◎	
	保育所実習Ⅰ	②	1. 保育所の機能・役割・生活や保育士の仕事を理解している	○		
			2. 乳幼児の発達や保育援助について、具体的に学習している	○		
3. 担当保育等を通して、実践力を身につける				◎		
施設実習Ⅰ指導	②	1. 実習施設における保育士の職務内容及び役割について理解する	○			
		2. 実習における明確な到達目標を設定する		◎		
		3. 実習生に求められる知識や技術を獲得し、留意事項を理解する	○			
施設実習Ⅰ	②	1. 児童福祉施設等の役割や機能、現状を理解する	○			
		2. 子ども・利用者への理解を深める	○			
		3. 子ども・利用者への支援及び保護者への支援を習得する		◎		
保育所実習Ⅱ指導	②	1. 既習の教科や保育所実習Ⅰの経験を踏まえ、保育実践力を培う。	○	◎		
		2. 実習の総括と自己評価を行い、自身の保育の課題を明らかにする。			○	
		3.				
保育所実習Ⅱ	②	1. 保育課程に基づく指導計画の一部を実践し、評価する。		◎		
		2. 入所児の保護者支援や地域の子育て、家庭への支援を学ぶ。	○			
		3. 実践を通して、保育士としての自己の課題を明確にする。			○	
施設実習Ⅱ指導 (4年度開講せず)	②	1. 施設実習Ⅰでの経験を生かし、より専門的な支援技術を修得する	○			
		2. 個別支援計画に基づいた支援の必要性と具体的方法を修得する		◎		
		3.				
施設実習Ⅱ (4年度開講せず)	②	1. 子ども・利用者を受容、共感する態度を身につける			○	
		2. 子ども・利用者のニーズ把握、子ども・利用者理解を深める	○			
		3. 子ども・利用者への支援技術及び保護者への支援技術を習得する	○	◎		
司 書 教 諭 養 成	学校経営と学校図書館	①	1. 学校教育の中の学校図書館の位置づけと教育的意義を学ぶ。	◎		
			2. さまざまな学校図書館の事例を学ぶことで学校司書と司書教諭の果たす役割について関係づけられるようになる。	○		
			3. 司書教諭の仕事について関心を持ち、仕事内容について具体的に説明できるようにする。	○		
			4. 司書教諭と学校司書の協働の大切さを知る。	○		
学校図書館メディアの構成	①	1. 学校図書館メディアの種類・性質と扱い方について理解する	◎			
		2. 学校図書館メディアの組織法について理解する	○			
		3. 学校図書館におけるメディアの提供のあり方を理解する	○			
学習指導と学校図書館	①	1. 学習指導と学校図書館の利活用について学ぶ	◎			
		2. 学習指導(授業支援)と学校図書館をうまくコーディネートするために、司書教諭が果たす役割について学ぶ	○			
		3.				
情報メディアの活用	①	1. 情報メディアを活用するときの司書教諭の役割を理解することができる			○	
		2. 情報メディアを活用した学校図書館のあり方について考えることができる			○	
		3. 学校で情報メディアを活用するときの留意点を理解することができる	◎			